

私たちの道

MCWAYを感じる

～ 専門家として、ビジネスパーソンとして、それぞれの成長～

1. 今までの自分自身の考え

- ・ 社労士として専門知識を身につけることが何より重要という考え
→ 専門家としての知識面での成長を重視
- ・ 一方で資料の見せ方、ファシリテーション、プロジェクトマネジメント等々のスキルは場数を踏めば自然に身につくもので、書籍等で学ぶものではないという考え
→ コンサルタントやビジネスパーソンとしてのヒューマンスキル、テクニカルスキルについてPDCAを回した成長ができていなかった

結果、担当する案件の中でも伝え方、見せ方、進め方の壁を感じることに ...

- お客さまに伝えたつもりがうまく伝わっていない、自分で見ても資料がわかりにくい ...
- 専門知識を活用するためにも、前提となるヒューマンスキル、テクニカルスキルは重要だと改めて実感

2. ヒューマンスキルとテクニカルスキルを伸ばすには？自分なりに考えた結果

- ・ 資料作成やファシリテーションに関する書籍を読み、一般的に良いとされている型を学ぶ
- ・ MCで共に仕事をするメンバーのやり方を参考に、良いと感じる部分は積極的に盗む
→ 自分なりに考えた結果を日々の業務で試し、良かったことを継続する

3. お客さまにとって頼れるパートナーになるために

- ・ 今後、専門家としての成長だけでは差別化に限界がある
→ 知識はAIにより代替され、社労士業界も競争激化
- ・ お客さまに認めてもらうためには、専門家である前に信頼できるビジネスパーソンでなければならない

専門家として、ビジネスパーソンとして、両輪での成長を継続的に続けることにより、頼れるパートナーとしてお客さまに価値を提供することが可能